Under 20 vol.15

「矯正治療と保定」

歯科医師（矯正）　布田花子

生涯を通して健康な口腔内環境を維持するために、OP ひるま歯科・矯正歯科では『Under 20：20 歳までの口腔内を徹底して管理し、むし歯・歯周病のリスクを低下させ維持する事が将来的な口腔内の健康に有利に働く』ことに注目し、取り組みを進めています。

歯を動かして、安定させる それが矯正治療！

矯正治療というと一般的に「歯を動かす治療」ということが認知されていますが、それだけではなく動かした歯並びを安定させる治療も必要になります。矯正治療には大きく分けて2つのステージ（段階）があり、ひとつめは装置をつけて継続的に力をかけて歯を動かす『動的矯正治療』。もうひとつは動的矯正治療のあとに行う『保定治療』です。

新しい環境になじませる！

保定とは動的矯正治療で歯を動かした後に、歯が元の位置に戻ろうとするのを防ぎ、安定した新しい状態を維持するために行う治療です。矯正治療により移動した歯には、もとの状態に戻ろうとする傾向があり、この現象を「後戻り」といいます。矯正治療で歯並びやかみ合わせが変化することで、それに接する唇や頬、舌などは、新しい環境になります。また歯を支える歯槽骨や歯根膜、歯肉なども新しい環境になるので、これら口腔周囲の組織を新しい環境になじませるステップとも言えます。

保定の際には保定装置（＝リテーナー）を装着します。動的矯正治療の際の装置に比べるとシンプルな装置であり、取り外し式の装置を使う方法や、歯に針金を貼り付ける方法などがあります。

子どもの時期に行うⅠ期治療後の保定は、治療した部分の安定化をはかるとともに他の部位が永久歯に生え変わるのを阻害しないようにしていきます。また、この時期は成長変化も旺盛なので状況に合わせて保定期間も変化します。一方、永久歯列期の治療（Ⅱ期治療）の保定期間は、おおむね2年くらい必要になります。そしてⅡ期治療の保定が終了すると、矯正治療は完了となります。

治療完了後も注意！

しかし、矯正治療が完了した後でも、歯並びやかみ合わせは変化します。その原因のひとつに、親知らずの萌出が関与します。一般的に親知らず（第3大臼歯）が生え始めてくるのが20歳前後になりますが、スペースのないところに無理に生えてこようとしたり、横向きで部分的にしか生えられない状態になることが多く、矯正治療後の歯並びやかみ合わせに悪影響を及ぼす場合、抜歯が必要となります。それ以外に、むし歯や歯周病、加齢変化等で変化することもあり、矯正治療が終わったあとも定期的なメインテナンスを行い健康なお口の中を守ることが重要になります。

2015年12月末をもって退職することとなりました。在職中は大変お世話になりましたこと、心よりお礼申し上げます。つきましては、今回で本連載も最終回となります。ありがとうございました。

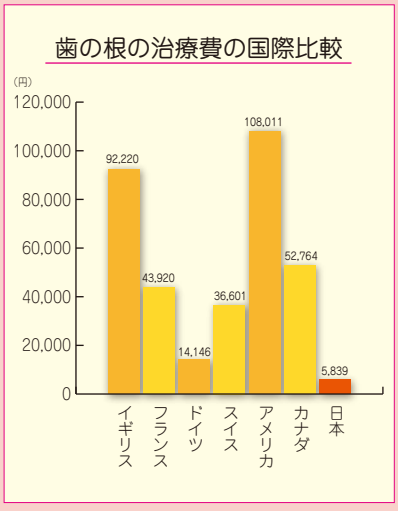
布田花子

ヒルマヤスアキのホッとひと息

歯の根の治療の大切さ

僕がこの原稿を書いている 10 月下旬、連日のように横浜のマンション傾斜事件が報道されています。最初からきちんと施工されていた場合と不正な施工により再度工事となった場合の違いはお金だけではなく住民の心身ともに疲弊させる非常に大きなものになるでしょう。

むし歯が進行した場合に行う歯の根の治療も、この事件同様、最初にどのような治療を行うかがとても大切です。歯の根の治療の成功率は、最初に適切な治療を行った場合は 90%、最初の根の治療に失敗して再治療を行う場合は40%にまで低下します。歯の根の治療が失敗するとはつまり抜歯することであり、歯の死を意味します。そして抜歯部位にはインプラントや入れ歯などの人工の歯を入れなければならず、新たな治療に通う負担、新たな費用が発生します。したがって、歯の根の治療は、最初に最高の治療を行うべきなのです。では最高の歯の根の治療はどのようにして受けることが出来るのでしょうか？



現在、日本では保険診療で歯の根の治療を受けることが可能です。その診療費用は約 6,000 円で世界の平均である 58,000 円の約 1/10 という低い設定です。他国ではなぜ高額なのかというと、歯の根の治療は非常に難しく特殊な顕微鏡下による施術、使い捨ての器具、専用の薬剤を使用して専門医が治療をするからです。それでも歯を失った時に必要になるインプラントなどにかかる費用（約 50～100 万円）より低く抑えられています。一方日本では保険診療の費用が低く設定されているため専門医が治療を行うことはありません。その結果、治療の失敗を繰り返し最後には抜歯になってしまいます。歯の寿命を最大限に長くするためには最初の段階で最高の治療を受けることが必要で、そのためには保険から離れ専門医による顕微鏡下での治療が必要です。当院では、歯の根の治療が必要な方には専門医を紹介しています。そして 1 本の歯の根の治療が必要になったとしても、次の歯は根の治療をしなくてもすむようにメインテナンスで歯を守っていきます。私たちは、MTM を基礎として歯を守り、治療が必要となった場合には各専門医による質の高い治療を行い、皆さんの歯を生涯にわたり守ることを目指す歯科医院です。